

# スカウト運動とガイド運動が 2021 年ノーベル平和賞にノミネート

投稿日:2021.02.05

世界スカウト機構（WOSM）は、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟（WAGGGS）とともに、2021 年のノーベル平和賞にノミネートされました。一世紀以上にわたり、何億人もの青少年に対して、世界に平和の文化を作りだす力をつけるよう支援してきたことが大きな貢献として評価されたのです。ノーベル賞候補には、ノルウェー・ガイド・スカウト連盟の前チーフコミッショナーで、現在は連盟内でボランティアとして活動されているノルウェー自由党 Solveig Schyztz 議員により推薦されました。Solveig Schyztz 議員は推薦文で以下のように述べています。

スカウト運動は、若者たちに、強い市民社会を築く力と、将来の課題を解決するために必要なツールを与えます。このような役割は世界平和にとって極めて重要です。

気候変動や戦争、あるいはコロナ禍パンデミックのような世界的な脅威にさらされている今日、私たちはエゴイズムやナショナリズムに対抗していかなくてはなりません。若者たちが自分の周りの社会だけでなく、世界中の社会において、共通の価値観と世の中に役立つことに対する信念の元に集う機会を提供することは必要であると考えます。

ノルウェー自由党国会議員：Solveig Schyztz（スールヴァイグ・シッツ）

1907 年に創立されて以来、スカウトとガイド運動は、若者たちが平和と相互理解を促進する為のリーダーシップとライフスキルを習得し、地域社会に貢献できるように育成してきました。スカウト運動はプログラムや活動の中に、チームワーク、団結、異文化間理解の考えを取り入れることによって持続的な平和の文化を作り上げることに寄与しています。

これまでの 10 年間だけをとっても、世界のスカウティングの基幹プログラムであるメッセンジャーズ・オブ・ピース(MoP)はスカウト達が地域社会の中で平和や持続可能な開発に関する行動をとることを奨励し、すでに 1600 万件を超えるプロジェクトや活動が実施されています。

文化の垣根を超えた協力と平和の構築を主目的として、世界スカウトジャンボリーや JOTA-JOTI (Jamboree on the Air – Jamboree on the Internet) のようなイベントが国レベル、地域レベル、世界レベルで開催され、積極的な世界市民を育てるべく、何百万人もの若者たちをつなげています。若者たちに他の人たちや様々なものに対して敬意を払い、つとめを果たすことの大切さを教えることにより、スカウト運動はさらに平和で、全ての年代の人たちを受け入れられる世界を築くために貢献しています。

※ 2021 年 1 月 27 日に世界スカウト機構から発信されたニュースを翻訳しています。

原文：<https://www.scout.org/scouts-nobel-peace-prize-2021-nomination>

